

令和5年7月14日
伊集院高等学校

令和5年度 第1回学校関係者評価委員会 報告

1 日 時 令和5年7月14日（金） 10:00～11:05（65分）

2 場 所 本校会議室

3 日 程 委嘱状交付
学校関係者評価委員会
(1) 開会のことば（教頭）
(2) 校長あいさつ（校長）
(3) 出席者紹介（教頭）
(4) 学校関係者評価委員会について（教頭）
(5) 本校の概要説明
ア 学校の運営方針（校長）
イ 各部から（四部主任）
ウ 各学年から（学年主任）
(6) 質疑応答及び委員からの提言等
(7) 閉会のことば（教頭）

4 出席者

外部評価委員 5名， 本校評価委員 10名 計15名

5 委員からの質問・提言・感想等

(A委員)

- ・説明の時間が長くて、質疑応答の時間が短いので同じぐらい時間を確保してほしい。足りなければ会議を90分で設定してもよい。
- ・伊集院高校の魅力は何なのか具体的に発信してほしい（スクールミッション等）。数Ⅲの件にしてももっとアピールしてよいのでは。
- ・朝補習が朝自習に変わったのはなぜか生徒は理由が分かっているだろうか。目的と手段の関係をもっと明確に伝えた方がよい。
- ・自分で考えることのできない生徒が増えているということだったが、教員側はどう働きかけたのか。先ほどテント張りのことが出たが、ただ教員がゴールを分かっているだけでは駄目で、生徒にゴールとその過程を明確に伝えることが重要ではないか。そのために大事なのが普段からの授業ではないか。
- ・私立高校と違い、公立高校は受検生の保護者の学校見学をしていないので検討したらどうか。

(B委員)

- ・コロナの影響でなにもできなかったことから大学でも指示待ちの生徒が増えている印象が強い。細かく指示をしてあげないと行動できない。テント張りの件でも、待っている間に何をすればいいか聞いてくれればいいのだが、それもできないのではないだろうか。
- ・学校を見学した際に教室の窓がガラス張りになっており、男子はそこで更衣をしていると聞いたが恥ずかしくないのだろうか。突っ張り棒を買ってきて、カーテンをつけるとかできそうだが。

(C委員)

- ・小中学校は年に1～2回程度話を聞く機会があるが高校は初めてだった。話の内容はやや難しかった。
- ・日常道路に立って声かけを行っているが、あいさつをして返してくれる子もいるが、知らないふりをして通る生徒もいる。
- ・話を聞いていて対応をどうすればいいか難しいと感じた。

(D委員)

- ・学校が色々なことを考えていることは、会議に出席するとよく分かるが、その真意が子供たちにどこまで伝わっているだろうか。自分の娘の発言を聞いていてそう思う。
- ・子供たちと職員の信頼関係が授業の理解とつながっていて大切だと思う。
- ・テントの件が出たが、小さい頃から指示に従うように言われてきているので、高校の問題というよりは教育全般の問題ではないだろうか。高校の教員の話を小学校の保護者が聞くような機会があればよいと思う。

(E委員)

- ・卒業生が来て高校は楽しいと言ってくれている。卒業生が後輩に話をして誘ってくれるのが一番効果的なのでは？
- ・活躍を地域にもっと発信してほしい。
- ・地元の学校には頑張してほしい。